

# 3学年通信

## Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

3学年通信 22号 通算 202号

2017. 5. 16 (火) 248日前

### 平成 29 年度 置賜地区高校総合体育大会 報告

明日は地区高校総体 (12 日夜)。米興 11 年目になるけれど、実はいつも大会の前はドキドキだ。生徒諸君には「落ち着いて！」とか励ますけれど、一番落ち着いていないは自分のような気がする。この胸がキューン！となる感じは昨日の壮行式で益々高まってしまった。では結果をレポート！

13 日(土)から大会が始まった。生憎の雨で外の部活は大変だったことでしょう。女子ソフトテニス部は急遽「小国へ会場変更」になったとお聞きしました。そんな中、男子ソフトテニスは地区優勝！の快挙を成し遂げました。顧問の先生お聞きしたところ「何年振りか分からない」(?) という位に久しぶりの優勝だそうです。おめでとう。写真は、以前 TU 君が送ってくれたものです。おそらく千葉県の春合宿のものと思われる。青春です。県大会での上位入賞を期待します。



また、山岳部は優秀という成績でした。この悪天候・低気温の中の良くやったと思います。山岳部は今どこも少人数で部の運営が大変だとお聞きしています。私も高校生のときは、あまり視野に入らない部活ではあったのですが、年をとると「山への憧れ」が募るので不思議です。登山、そして山での生活経験は必ず貴重なものになるはず。特に、ここ山形は自然豊かな地域ですので、一生幸せになれるはず。なお、右の写真は山岳部の SM 君からの投稿頂きました。県大会でも忘れ物をしないで登って来て下さい？ 次回も山頂からの絶景ショットを待っています。



遅くなりましたが、女子ソフトテニスは先ほど終了したようです (15 日の午後)。3 日間の大会は小国への移動も含めて大変だったでしょう (し、思い出に残るものでしょうね)。おそらく結果は (私が思うに) ソフトテニス部が期待したものでは無かったかもしれません。君達の頑張りはずっと見ていたけれど、「努力が結果に現われる」って本当に難しいことだと実感します。これは何事もそうだと思うのだけれど、ある意味無情です。この経験を、次の県大会のステージでまたは別のステージで「今度は絶対負けない！」という強い気持ちに活かすことです。写真は KR さんが送ってくれたものです。女子ソフトテニスメンバーの絆を現わす素敵な 1 枚だと思います。



柔道部の SR 君は 66Kg 級で準優勝でした。おめでとう！柔道部は昨年一昨年と入部者が少なく私も心が痛んでいます。それでも彼は強い気持ちで練習に励み、指導者の吉田先生はもちろんですが OB 達が練習に来てくれて実力を高めました。ですから、ある意味「最も意義ある地区総体と結果」が柔道部であり SR 君だと思います。県大会の上位入賞を切に期待します。



剣道男子団体は準優勝、女子団体は 3 位と素晴らしい結果でした。私もスポ少は剣道でしたので、あの夏の暑さや冬の冷たさでの稽古は辛くキツイものだと知っています。しかし、剣道部諸君はそんなことを表情にも出さずにいつも笑顔です。不思議です。顧問である五十嵐弘一先生の元、部員一同はいつも元気で前向きです。五十嵐先生もそうであるように、剣道部は OBOG の皆さんも一生懸命です。卒業生が来てくれる部活動ランキングでは最上位だと思います。ですから高校 3 年間はもちろんですが卒業後も関わられることは本当に幸せだと思うのです。案外、部活動以外で米興を訪れるのは結構勇気のいることです。ちなみに、私などは卒業後 20 年間で米興に入ったのは教育実習だけです。県大会での活躍はもちろん、生涯にわたり米興剣道部を支えてくれることを期待します。なお、以前の通信で掲載した写真は不明瞭だったので、男子主将の TK 君、女子 ES さん、TA さんの「ちょっとイイ写真」を発掘したので掲載しました。剣道って佇まいがすごくカッコイイ！映画、無限の住人観たくなりました？



弓道は男子団体準優勝、そして女子団体は 3 位、男子個人では SH 君が見事 3 位に入賞しました。思えば 3 月、県新人準優勝の女子が東日本大会に出場するのを米沢駅で見送った弓道男子諸君。おそらく、その胸中「今度は俺達男子の番だ！」という思いで練習に励んだことでしょう。顧問のいつみ先生や原田先生へ、そして音楽部に移られた美穂先生への嬉しいプレゼントになったことでしょう。折角のチャンスです。弓道は男女とも県チャンピオンが十分に狙えます。南東北インターハイへ男女アベック出場できることを期待しています。勝負はこれから！写真は今年の地区新人大会の SH 君の雄姿です。日本男児って感じです。弓道もカッコイイねえ。



卓球は団体戦男女とも 3 位でした。また男子シングルスでは KY 君が見事 2 連覇をはたし、女子ダブルスでは IS & IA ペアが優勝という素晴らしい成績でした。おそらく団体戦は顧問の渋谷先生は「う～ん、イマイチ」と渋い顔で話される (表情が想像できる?) でしょうが、次回の県大会では団体・個人共に「米興旋風！」を巻き起こして欲しいものです。写真は男子主将の KK 君が送ってくれたものです。前回の通信に間に合わなかったのですが、素敵な写真なのでここで掲載します。日本は今、卓球は熱いですね。東京オリンピック目指してガンバレ～！



バドミントンは男子団体準優勝、女子団体 3 位、男子シングルスは WD 君が 3 位、男子ダブルスでは MR 君 & WD 君 ペアが準優勝でした。前回通信「WD 君のスマッシュ MR 君の後頭部直撃写真！」の成果が表れて私は嬉しいです？女子シングルスは AS さんが 3 位、女子ダブルスは AS さん & HM さん ペアが準優勝という素晴らしい結果でした。しかし、女子団体はおそらく優勝を逃し悔しさ一杯なことでしょう。バドミントンは過酷です。あの運動量、そして暑い日も締め切った体育館での練習は尋常ではありません。競技人口も多く勝ち抜くのは大変な競技ですが、県大会・東北大会・インターハイへのチャンスは十分にありますので狙って下さい。そう！！バドミントンも今熱い競技だね。目指すはオリンピックだね！MR 君はやるときやる男やで↑





続いてはフェンシング部です。女子団体優勝、男子団体準優勝です。また個人戦、男子フルーレはOH君、MG君、OK君が1～3位を独占、男子エペもOH君、OK君、AK君の1～3位コンプリート。女子はフルーレWAさん、EMさん、GYさん、エペKAさん、WAさん、GYさんがそれぞれ1～3位となりました。伏せ字なのですが、特記すべきは「エペのKAさん」でしょう。熱心な読者の方なら「あっ！あのアキレス部長だ」と思い出すことでしょう。その彼女がついに復活しました。フェニックスKA！と呼んで下さい。きっと涙の日々が彼女を大きく成長させたことでしょう。「あのことがあったから今がある！」って思えることが大切です。無理は禁物ですが、まずは県大会でのV！を期待しています。なお、2学年通信 No.111-175 を再掲します。涙無くして読めま1000！？（ps 休養が良かったかなと僕は思うよ by 小原監督？）



エペ大好きKAにとってこれ以上の痛手はありません。そうです。KAは県選抜予選の次の日にアキレス腱をやらかしたため、今大会は応援しかできません。この大会のために4、5ヶ月生きてきたようなもんです…。この世の全てのアキレス腱がなくなってしまうといいと思いました。今も涙で袖を濡らしながら原稿を書いています。うわああああ。(´Д`°)。「誰かオラに仙豆を分けてくれ」って感じです（わかる人はわかるはず）。皆さんも怪我には十分気をつけて下さい。アキレス腱が切れそうな気配がしたら部活を休むことをお勧めします（これは個人の感想です）。

バスケットボール部です。女子は3位、男子は5位という結果でした。バスケットは激戦区なので勝ち抜くのは大変でしょうが、ちょっと昔話。私の高校時代のバスケ部は、県でも8本・4本を狙えるハイレベルなチームでした。監督は高橋先生というのだけれど「長介先生」というニックネームで呼ばれていました。それは、おそらくドリフターズの「いかりや長介」由来と思うのだけれど？だから皆、長介長介呼んでいたのを勘違いした同級生女子が職員室で「長介先生に用事があって来ました！」って大声で叫んだのが旧校舎の伝説となりました。その同級生は同級生と結婚し、今は米沢某高校の英語教師をしています（詳しくは130周年記念誌を見てね？昔は先生に「あだ名」を付けるのが当たり前だったけれど今はどうなのかな）。そんな強豪時代のOBも沢山おいでなので、男子には県大会で頑張ってもらいたいものです。また、女子部の歴史は浅いのだけれど、設立に尽力してくれた先生や当時の生徒達の思いもあるのだから頑張らないとね！



サッカー部はGW前から予選が始まっていたのだけれど地区3位入賞。県大会出場を成し遂げました。おそらく望んだ結果では無かったと思うのだけれど、この11年間で県大会出場ならずして涙を流し引退した先輩学年もあったことも事実。サッカーは厳しい中でよく勝ち進んだと思う。厳しいと言えば50余人の部員からユニフォームを頂くのも大変なこと。そのうち半数が3年生だからね。これから、さらに切磋琢磨して、よりハイレベルなチームとなり県大会を勝ち抜いて欲しい。昔話。当時のサッカー監督と言えば蒲生直樹先生。通称「ガモウ」やね？浅黒く日焼けした顔で笛をグルグル回しながらグラウンドに向かう姿が怖かった？（スイマセン）



バレーボール部は地区3位。素晴らしい結果だと思いのだけれど、おそらく顧問の後藤由香先生は「勝てたでしょ！もう情けない！」って試合後に熱く語っている姿が想像できるワ？ちなみに私はバレー部員&マネージャー諸君は普段から部活動も学びも挨拶も誠実なので応援したくなるのです。増してや顧問の先生が熱いとさらに応援したくなるのです。そして今回は、フナコッシー先生への報告もあるしね。バレーボールと言えば、昨年普通科キャリ研で講演頂いた川合さんと宍戸さんはお二人共バレー部のOBでしたね。宍戸さんは「相手コートに打ちつけたスパイクが体育館ギャラリーに飛び込んで女子生徒にキャーキャー言われるのが楽しみだった」と話しておられたのを思い出します。バレーボールは米興の歴史と伝統に栄光の道を刻んできた部ですから熱い方が沢山おられます。県大会では1つでも多く勝ち進み、由香先生や寺澤先生、OBの皆さま、そしてフナコッシー先生が「焼肉を驕ってあげたい！」と思うような試合を期待します。



### Dreams Come True 八

最後はホッケーです。実は今日学校に行きたくなかったのですが「ちょっとだけ」来てみたのです。すると想像していたように猪俣先生が大会の記録をおまとめになっていました。高体連の地区事務局が米興で、その事務局長を猪俣先生がお努めになられているのです。おそらく明日（16日）の朝刊に「置賜地区大会の結果」が掲載されます。その全競技の結果をまとめて新聞社に配信されているのが猪俣先生であり米興体育課の先生方です。これら大会結果は「手書き」で提出されるので、全て打ち直さなければなりません。またソフトテニスのように今日午後遅くまで試合のあった競技もあります。明日の新聞に掲載するべく、その大変な作業をされている方々が各地区におられるのです。そのようなことは生徒諸君も知らないでしょうし、先生方でも関わった方しか知らないかもしれません（19時丁度。横で猪俣先生が電話して「自転車競技終了しました。間に合いますか？」と問い合わせています。やっと全競技終了）。大会に勝った負けたは大きなことなのだけれど、このように「大会運営に携わる人」がおられることを生徒諸君には知っておいて欲しいと思うのです。昨日も今日も学校に来たくなかったのはホッケー男女が残念ながら準優勝となったからです。恥ずかしながら今日の昼まで放心状態の私でした。でも、今日は学校に来て良かったと思うのです。各部の活躍や涙をリアルタイムで知ることができたこと、そして何より「大会は自分達だけでやっているんじゃない！」という事実を再認識&眼を覚させて頂いたからです。勝つことは意義大きいことです。自分達が歩んできた道は正しかったと自信に思えるからです。しかし一方、勝利は「勝ったから全てオーライ！」のように、やや乱暴な考え方に陥る可能性も秘めていると思うのです。ですから勝者は「勝って兜の緒を締めよ」と自身を戒めることも必要だと思います。次に勝つためにです。敗者も同様です。負けた理由が必ずあります。眼を瞑らずに直視し皆で共有することです。それは凄く嫌なことなのだけれど、次に勝つために必要なことです。しかしながら、明日から中間考査に向けた「学びを第一とした8日間」です。学びの全国大会も248日後になりました。8日で成らないモノは200余日でも成りません。その後県大会まで数日だとしても、勝利するチームに成ることは気持ち1つで十分可能だと確信するので。学びも部活動もできて大学へ行ける！が米興。諸君の末広がりを期待し「八」としました。終

